

## 「なぜ」を深める 科学的思考文化の進化

西条高校は、平成30年度から5年間、文部科学省が指定するSSH（スーパーサイエンスハイスクール）に選ばれました。「なぜ」を深める科学的思考文化の進化を令和元年度の重点努力目標として教育活動を行っています。

### SSH(スーパーサイエンスハイスクール)とは？

SSH(スーパーサイエンスハイスクール)とは、文部科学省の指定を受けた、先進的な理数教育を実施する高等学校のことです。大学その他の研究機関との共同研究や、将来の国際的な科学技術関係の人材育成に取り組んでいきます。

本校は、平成30年度に指定を受け、「南海トラフ地震の学びを通した多次元マルチリーダー人財育成」の研究主題のもと、5年間の研究・実践に取り組んでいます。

SSH事業の一環として、学校設定科目を設け、1年生では「有法子(ユーフアーズ)」、2年生では「マルチサイエンス I」の授業を展開しています。

### 有法子の取組

#### 有法子(ユーフアーズ)とは？

この言葉は、本校第2回の卒業生・第4代国鉄総裁・新幹線生みの親である十河信二氏の座右の銘です。「方法はある。知恵を出して成せばなる(何事にも積極的に意欲を出せ)」という意味です。

#### 「地域を知り、地域の課題を見付ける」

1・2学期には、「防災」「経済」「国際」「医療」の4つのクロスカリキュラムを設定し、それぞれの領域において、講演→研究課題プロセス設計→課題研究スキル評価を実施します。

3学期には「ブレ課題研究」を実施し、研究計画の策定方法や効果的なプレゼンテーションの在り方を、習得させることを目標としています。



「地域を知る」ための基礎ガイダンス風景

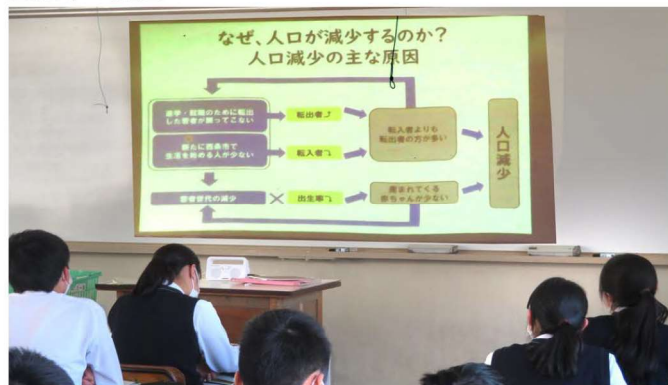
#### 有法子ガイダンス



2年生による研究成果報告会の様子

5月25日(月)有法子のガイダンスが、本校体育館で行われました。永井先生から「有法子」の学習内容と今後の予定について説明がありました。また、2年生が、昨年度の研究成果報告会で行ったポスター発表やイギリススタディーツアー報告を行いました。

#### 西条市の課題



映像配信による大久保氏の講演

5月28日(木)西条市役所西条市経営戦略部政策企画課 係長 大久保武氏を講師にお迎えして、「西条市の課題」をテーマに、現在の西条市の課題について講座を開催しました。今回は、事前に講義を収録し、各クラスで映像を配信しての講座となりました。講演では、「西条市の出生率が高くなれば人口が増えるのではないか」「人口減少が西条市に及ぼす影響はどのようなものが考えられるか」等の問いを受けて、各自が考えをまとめ、発表しました。

また、パンフレット等の『ともにつくる。さいじょう』をいただきました。ここには、さまざまなデータ等が記載されており、有法子での研究活動に生かしていきたいです。

### マルチサイエンスの取組

#### 2年生「マルチサイエンス I」

昨年度から学年全員がA～E講座、各分野に分かれて課題研究に取り組んでいます。研究活動は大学、地域の事業所等と連携して行っています。特に、新居浜工業高等専門学校と、理系分野の人材交流や情報交換のための教育連携協定を結んでおり、昨年度から「マルチサイエンス I」のC・D講座における課題研究に共同で取り組んでいます。

1学期は、コロナウイルス感染拡大防止のため、遠隔通信アプリを活用して研究活動に取り組んでいます。



新居浜工業高等専門学校生とのオンラインによる交流